

中田 健夫

東京都世田谷区生まれ。

日本全国11ヶ所及びシンガポールでの居住経験あり。現在、東京と北海道の2ヶ所で医師として勤務中。その為、毎週飛行機で往復。

日本全国大小 1,000ヶ所以上の神社巡拝をきっかけにデジタルカメラを始める。5年前から北海道釧路での勤務が始まり、北海道の大自然にも魅入られ、写真を一から勉強したくなり、高崎勉先生と松下龍士先生の当講座に参加。今回のAbox展が2回目の写真展参加となる。

■主な展覧会、写真活動歴

2019 Abox Photo Academy 写真展 2019

戦野の笑顔

ここは医療の最前線、そして私の職場である。コロナ禍において昨年秋頃から医療崩壊が報道されるようになってきたようだが、そのタイミングに違和感を感じた医療従事者は私だけではないだろう。そして昨今流行りの医療ドラマを時々目にするが、そこにも非現実が描写されている。現実と情報の乖離は何も医療のことに限った話ではないのかもしれない。もちろん手術スタッフの視線の先には命を救うための闘いがある。しかしその緊張が解けた瞬間に、私たちは人間としての喜びや楽しさを取り戻すひと時がある。そんな医療現場の空気感をカメラで捉えてみた。緊張を強いられる空間でかけがえのない命を守り続けていくためにも、こうした束の間の安堵の微笑みが医療現場から消えないことを願う。

中田 健夫